



⑤ これらの変化パターンの中で特に政策的にその変化の誘導が可能と考えられる変動パターンに対してその望ましい変化の方向を論議することによって、地域の政策的誘導方向を考えたような代替的な将来の地域フレームを四つで示す手順により作成することとする。さらに、五段階推定法による交通需要予測のプロセス

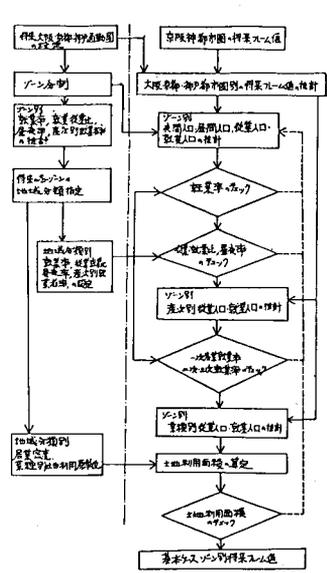


図2. 順例型フレームの設定プロセス

を通じて地域構造の誘導方向や幹線道路網の整備方針に関する評価・検討を行うこととした。

そして、以上のプロセスを繰り返すことにより、実行可能性の高い将来地域フレームにかけるより合理的で妥当性の高い幹線道路網整備案をた

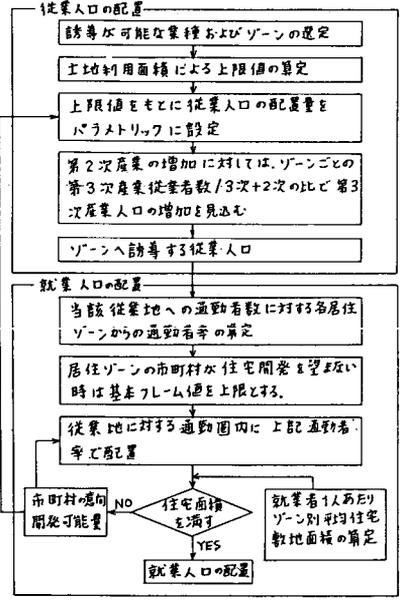


図3. 代替的地域フレームの設定プロセス

3. 実証分析

本研究では、以上の方法を京阪神都市圏における幹線道路網計画に適用し実証分析を行った。地域構造の長期的な変動状況に関する分析についての詳細は後述の報告上参考文献に譲ることとして、ここでは図1の入テ

5の分析結果のみを示すこととする。さて、大阪都市圏の地域構造的特徴的な変化傾向としては、通勤流動の副核となるような大阪市の周辺諸都市の発展・成長があげられることか実証分析を通じて明らかとなった。また、実際の社会・経済活動の立地行動に関する分析を通じて政策的誘導の可能性を検討するとともに、表1に示す項目に関して、関連市町村の既存の構想計画や意向を整理・検討し、その結果、大阪都市圏の副核となる都市を中心とした地域に産業活動の積極的な育成を図るような4通りの代替的な地域フレーム案を作成した。また同時に、現況の幹線道路網に工事路線を付加し、さらに計画道路の粗み合わせを考慮することによって表2に示すような9通りの幹線道路網の代替案を作成した。そして、五段階推定法のプロセスを通じて幹線道路網と地域フレーム案の整合性に関して評価・検討を行った。この分析の結果を計画情報としてとりまとめたが、その一部を表3に示している。これらの分析より、①大阪湾岸道路を建設・整備し大阪府南部地域に産業活動の集積を図る場合に最も交通機能の向上が図れる②大阪府の東部地域に産業活動の集積を図るには南部地域にも産業の育成を図り湾岸道路と中央環状線を一体整備する必要ある等が明らかとなった。なお、その他の分析結果については講義時に発表することとする。

表1. 関連市町村の開発に対する意向についての整理項目

- ・開発誘導度
- ・財政力
- ・財政状態
- ・人口増加に対する考え方
- ・人口配置に対する方針
- ・将来の主要産業
- ・開発と自然環境の保全
- ・中野区巨塚の変換に対する方針
- ・住地の確保
- ・住宅供給の基本方針

表2. 幹線道路網の代替案

幹線道路	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第2次環状線	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪湾岸道路		○					○		
大阪中央環状線				○				○	
大阪環状線					○				○
大阪湾岸道路						○	○	○	○

表3. 産業活動の配置代替案と交通量配分結果

産業活動の配置代替案	総走行時間	幹線道路の走行時間	非幹線道路の走行時間	幹線道路の走行時間(%)	非幹線道路の走行時間(%)
南向型地域フレーム 集中	7061247	3,336,715	1,331,515	3,232,977	1,303,347
南向型地域フレーム 分散	6997609	3,393,977	1,232,070	3,288,271	1,200,794
大阪湾岸道路に就業人口を集積させる	6892873	3,394,400	1,231,976	3,288,271	1,200,807
大阪湾岸道路に就業人口を分散させる	6895398	3,397,786	1,230,822	3,288,779	1,199,834
大阪湾岸道路に就業人口を分散させる	6891317	3,392,268	1,231,414	3,285,160	1,199,619
大阪湾岸道路に就業人口を分散させる	6897609	3,393,977	1,232,070	3,288,271	1,200,994
大阪湾岸道路に就業人口を分散させる	6895069	3,393,121	1,231,622	3,288,994	1,200,616
大阪湾岸道路に就業人口を分散させる	6892862	3,396,684	1,231,226	3,286,694	1,199,277
大阪湾岸道路に就業人口を分散させる	6885069	3,393,121	1,231,622	3,286,622	1,200,616

(大阪湾岸道路) (大阪湾岸道路・中央環状線)

(参考文献)

吉川、小林、川合、森川；京阪神都市圏における交通施設の整備計画のための地域構造の変換に関するシステム論的分析、土木学会関西支部年次学術講演録要集、1981.6